



# 茜の空

令和5年度 第9号  
発行日令和6年1月11日(木)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 木原 賢三

## 新年を迎えて

校長 木原 賢三

新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、ご家族とともに健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。新しい年を迎え、教職員一同、心を新たにして子供たちの健全育成に全力で取り組みたいと思います。

今年も昨年同様に石南中の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年は甲辰（きのえたつ）年で、成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味合いがあり、そのため、これからの成長をさらに形作っていく年でもあるともされています。「竜の雲を得るがごとし」と言われ、竜が雲を得て天に昇るように、機を得て盛んに活躍するという意味です。これまで育んできた様々な学びを活かし、今年1年が皆さんにとって大きな成長を形作ることができる1年にするとともに、大きく飛躍することができる1年にしてほしいと願っています。

さて、14日間の冬休みでしたが、今年のお正月はどんなお正月だったでしょうか。本来、お正月とは、「年神様をご自宅にお迎えするための行事」であり、家族全員で年神様をもてなして新年を歡び、新しい1年の健康や幸福を授けてもらうために行われるものです。「年神様」とは、お正月の神様のことで、五穀豊穡や子孫繁栄を司るとされています。その年神様をお迎えするために、年末の大掃除や年越しそば、お正月飾り、お雑煮、おせち料理、初もうでなど様々な正月行事が行われるようになりました。このようなことから、お正月を迎えることは特別な意味があり、大変めでたいので、「明けましておめでとうございます」と挨拶を交わし、無事に年を越すことができた感謝と新年の希望を込めて正月を祝うのだそうです。一方、地域ごとに異なる様々なお雑煮が料理されたり、伝統的な料理にとらわれない和洋折衷の新しい形のおせち料理も登場したり、新しい時代に合わせた多様な形のお正月も行われています。このような機会を活かし、ぜひ地域や郷土の素晴らしい伝統や文化を伝えるようにしていただきたいと思います。特に、子どもたちに自然体験や生活経験などの不足が指摘されている昨今、各家庭で行われる豊かな体験や経験が、生徒の創造力や共感力を豊かにするとともに、自己肯定感や自己有用感を高めていくことができます。今後も、地域や郷土の伝統や文化を尊重しながらも、新しい時代に合わせた価値観を味わわせる豊かな体験や経験が行えるようにしてほしいと願っています。

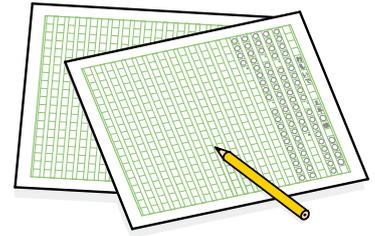


新しい年とともに、新たな石南中の1年が始まります。石南中の良き伝統である「誇れる上級生、学ぶ下級生」の姿や授業や学校生活に真面目に取り組み、気持ちの良い挨拶ができる礼儀正しい石南中生として自覚ある姿勢をこれからも引き継いでいきます。さらに、自分だけでなく仲間も大切に、感謝の気持ちと思いやりの気持ちをもって自分探しに取り組むことができることを目指していきます。これまでの伝統を継承し、さらに新しい歴史の1ページを開き、発展させることができるよう教職員一同力を尽くして参ります。地域の宝である石南中の生徒が自信と誇りを持ち、石南中プライドを育む1年にしてほしいと願っています。

## 表彰 ～石南中生の活躍～

### 税の作文

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞  
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞  
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞



### 税の標語

練馬西税務署長賞(全国間税会総連合会入選)

「納税は権利のために果たす義務」

練馬都税事務所長賞(東京国税局間税会連合会入選)

「納税で笑顔と希望を全ての人に」

練馬西間税会優秀賞

「納税で次の世代に続く幸せを」

ジュニアリーダー養成講習会中級修了

バスケットボール練馬ジュニア杯優秀選手賞

練馬区いじめ一掃プロジェクト「いじめ防止ポスター」入選

## 練馬区中学校 生徒作品展 出品生徒の紹介

令和6年1月13日(土)～17日(水)  
10:00～18:00 但し15日(月)は休館日  
於 練馬区立美術館

### 美術科

<日本の文化ポスター>

<学校ピクトグラム>

<絵文字>

### 技術科

<木工製品の設計と製作>

### 家庭科

<刺し子>